

第3次豊田市生涯スポーツプラン・行動計画について

1 行動計画の位置づけと計画期間

(1) 行動計画策定の趣旨

豊田市は、「豊田市生涯スポーツプラン」(2001.4～2012.3)、「第2次豊田市生涯スポーツプラン」(2012.4～2018.3)に基づき、スポーツ行政に取り組んだ。

今後、ラグビーワールドカップ 2019™や、2020 東京オリンピック・パラリンピック開催が予定され、スポーツに対する市民の関心がますます高まる中で、第8次豊田市総合計画及び第3次豊田市教育行政計画を上位計画として、「第3次豊田市生涯スポーツプラン・行動計画」を策定し、「生涯スポーツのまち 豊田」の実現を目指す。

(2) 行動計画の位置付け

「第3次豊田市教育行政計画」中のスポーツ分野をもって、「第3次豊田市生涯スポーツプラン」と位置付けている。本行動計画は、「第3次豊田市生涯スポーツプラン」を推進するための具体的な取り組みを示す。

(3) 行動計画の計画期間

第3次教育行政計画と同様に2018年度から2021年度の4年間を計画期間とする。

2 第2次豊田市生涯スポーツプランの評価

(1) 第2次豊田市生涯スポーツプランの成果目標に対する達成状況

	指標名	基準値(2009)	現状値(2016)	目標値(2017)
子ども	① 1日60分以上運動をする小学生	小5男子 68.1% 小5女子 47.3%	小5男子 54.9% 小5女子 33.5%	男女とも 100%
	② 小学生の体力・運動能力調査で全国平均以上の種目	小5男子 2/8 種目 小5女子 1/8 種目	小5男子 1/8 種目 小5女子 1/8 種目	全種目
成人	③ 1年間に全くスポーツをしない成人	15.0%	19.3%	0%
	④ 週1回以上のスポーツをする成人	33.7%	56.2%	65%以上

(2) 重点取組項目の取組実績の総括

- ・第2次生涯スポーツプランに基づき、子ども、成人のスポーツ活動の推進を始め、5項目の重点的な取組を推進した結果、2017年度時点においては計画策定時より、事業内容の充実や参加者数の増加といった実績をあげることができた。
- ・一方、こうした取組にもかかわらず、成果指標である子どもの体力・運動能力の向上や成人の運動習慣の形成といった目標は達成できなかった。
- ・本行動計画策定に当たり、各種事業の実績と内容を見直し、さらに効果的な事業展開を図る。

3 豊田市のスポーツの現状と課題

(1) 現状

- ・子どもに関する取組として、コーディネーショントレーニング（COT）を中心とした運動の習慣化や体力・運動能力の向上を図ったが、いずれも、2009年度時点を下回る結果となった。
- ・成人は、2009年度時点に比べ、スポーツが習慣化している成人の割合が増えた一方で、スポーツをしない成人の割合も増えており、2極化が進んでいる。
- ・スポーツ推進委員や地域スポーツクラブの認知度が向上しており、地道な活動が浸透している。
- ・「市民が参加できるスポーツイベント」への関心・期待が高まっている。

(2) 課題

①スポーツを「する」機会の拡充

- ・子どもから高齢者までの全ての世代に「するスポーツ」を浸透させていくことが必要。
- ・これまでスポーツに関わりがなかった人に関心を持ってもらう働きかけが必要。
- ・新たな施設整備はスポーツニーズの高まりや、施設の利用状況等に応じて検討していくことが必要。

②スポーツを楽しむ風土の醸成

- ・市民のニーズに合ったスポーツイベントを提供することが必要。
- ・地元チームやアスリートを応援したい、自らもスポーツに取り組みたいと市民が思うような働きかけが必要。
- ・ラグビーワールドカップ 2019™等の開催を好機ととらえ、市民が観戦・応援したくなる魅力的なスポーツイベント等の誘致・開催が必要。

③スポーツを「支える」人材の育成

- ・指導者の指導力向上及び新たな人材育成が、スポーツの拡大・継続に不可欠。
- ・地域スポーツクラブを強化するため、各クラブの連携を促進する働きかけが必要。

4 スポーツ推進の基本方針

(1) 豊田市がめざす生涯スポーツの姿（第8次総合計画）

《めざす姿》

“様々な世代がライフスタイルに応じてスポーツを楽しんでいる”

(2) 施策展開の基本的な考え方

「スポーツ資源を生かした生涯スポーツの推進」を展開するため、本行動計画では「スポーツを「する」機会の拡充」、「スポーツを楽しむ風土の醸成」、「スポーツを「支える」人材の育成」を施策の柱に、めざす姿の実現に向けて、各事業に取り組む。

(3) 成果目標

指標名	現状値	めざす方向
中学生以下の子どものうち、地域スポーツクラブに加入している割合	7.3%	↑
成人の週1回以上のスポーツ実施率	56.2%	↑
過去1年間にスポーツ観戦した市民の割合	34.6%	↑
過去1年間にスポーツボランティア活動をした市民の割合	4.5%	↑

(4) 施策体系

【施策】

【施策の柱】

【主な取組】

スポーツ資源を生かした生涯スポーツの推進

(1) スポーツを「する」機会の拡充

① 子どもの体力向上に向けた取組 ★

- ・こども園等でのCOTの推進
- ・スポーツ少年団活動支援
- ◎中学校部活動の支援
- ・地域スポーツクラブ教室事業への支援

② 成人のスポーツ機会の創出

- ◎体力測定の推進
- ・親子参加型教室の開催促進
- ・ウォーキング大会の開催
- ◎企業と連携したスポーツ実施機会の創出

③ 高齢者の健康づくりの推進 ★

- ◎ウォーキングの推進
- ◎ラジオ体操の推進
- ◎コグニサイズ※1の推進
- ・マレットゴルフ等の高齢者スポーツの推進

④ 障がい者スポーツへの支援と理解促進

- ・障がい者スポーツ教室の開催
- ・全国規模の障がい者スポーツ大会の誘致
- ・障がい者向けスポーツイベントへの支援
- ・パラアスリートとの交流機会の提供

⑤ 地域のスポーツ推進 ★

- ・地域でのウォーキング活動の推進
- ・スポーツ推進委員等の活動支援
- ・ヘルスサポートリーダーの活動支援
- ◎出前講座の実施

⑥ スポーツ実施環境の整備

- ・(仮)梅坪台運動広場整備
- ・体育施設の安心・安全の確保
- ◎(仮)松平地域体育館等整備
- ・大規模集客施設の快適性向上

スポーツ施設の整備については、別に示す「スポーツ施設整備基本方針」に基づき検討

※1 コグニサイズ/運動と認知トレーニングを組み合わせた認知症予防の取組

(2) スポーツを楽しむ風土の醸成

① トップレベルのスポーツイベントの開催 ☆

- ・豊田スタジアムでの大会の開催
- ・大規模大会の誘致
- ・スカイホール豊田での大会の開催
- ・大規模大会における体験会等の開催

② 地元スポーツチーム及びアスリートの応援 ☆

- ・わがまちアスリートの応援と情報発信
- ・グランパスホームタウン事業の実施
- ・本市ゆかりのトップアスリート
- ・MIRAI へつなぐ「夢の教室」in 豊田の開催
- ・チームの応援と情報発信

(3) スポーツを「支える」人材の育成

① スポーツ指導者の養成

- ・指導者養成講座の実施
- ・スポーツ少年団指導者研修会の開催

② 大学や企業と連携した地域スポーツクラブの強化 ★

- ◎ (仮) スポーツクラブ連合会の設立
- ◎ (仮) スポーツクラブ連合会事業の推進

③ 体育協会及び加盟団体の活動支援

- ・市民総合体育大会の開催支援
- ・スポーツ少年団指導者研修会の開催 (再掲)

④ スポーツボランティアの組織化

- ◎ ラグビーワールドカップ 2019™ ボランティアの活用

★：重点的な取組 (スポーツ習慣促進事業) ☆：重点的な取組 (トップアスリート・スポーツチーム応援活用事業) ◎：新規・拡充事業

5 第3次豊田市生涯スポーツプラン・行動計画の推進体制

本行動計画の推進は、行政のみならず、市民、地域やスポーツ・保健に関する団体、学校、大学、企業など、多様な主体が、それぞれの分野で積極的に取り組むことと同時に、様々な場面で、協力・連携を図りながら取り組んでいくことが重要である。

そのため、各団体が相互に連携し、効果的な計画の推進を図る。

【議題趣旨】

今後の効果的な施策展開に向け、各委員からご意見をいただきたい。

《意見交換のポイント》

- ・子どもの体力・運動能力が下がっている現状や、今後の取組に対するご意見をいただきたい。